31 週　第三戒

質問 53. 第三戒は、何ですか。

答え I 第三戒は「あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。みだりにその名を唱える者を、主は、罰せずにはおかれない」です。

質問 54. 第三戒が、求めるのは何ですか。

答え I 第三戒が求めるのは、神の御名、称号、属性、規定、みことばと使役などを、聖く、恐れる心で用いることを求められます。

質問 55. 第三戒が、禁ずるのは何ですか。

答え I 第三戒が禁じているのは、神が、ご自身を知らせようと与えた、いかなるものをも、冒涜し、乱用することです。

質問 56. 第三戒に、付け加えられた論理は何ですか。

答え I 第三戒に付け加えられた論理は、この戒めを破る者が、たとえ人間による罰は免れたとしても、主、私たちの神は、ご自身の正しい裁きから、避けられなくさせるということです。

解説

正しい礼拝

第三戒が、求めるのは、神に正しく礼拝を捧げなさいということです。特に、礼拝の態度に対して説明しています。私たちは、神を謙遜に、恐れる心で礼拝すべきです（詩 2:11）。ただ、神の礼拝に参加するだけでは十分ではありません。神の定められた秩序に従って、神を、必ず探し求めなければなりません（Ⅰ歴代 15:13)。神を礼拝することにおいて、神の御名だけを使用すべきです(イザヤ26:13)。特に、不敬虔な方式で神の御名を用いてはならず、軽々しく呼んでもいけません（レビ記 18:21）。

神の御名

神は、ご自身の御名を知らせながら、ご自分を示されました。神はモーセに、ご自分の名を知らせる時に、契約を最後まで真実に守る方としてご自身を現しました（出 6:3）。そして神は、ご自身について称号を知らせますが、「万軍の主」、「イスラエルの聖なる方」、「アブラハムとイサクとヤコブの神」、「万軍の王」、「聖徒たちの王」、「私たちの主イエス・キリストの父なる神」、「救いの神」、「私たちの祈りを聞かれる主」等々です。神はみことばを通して、御自身の属性も知らせてくださいました。全能なる方、永遠の神、目には見えず、無限なる知恵、神の遍在性、聖なる神、不変、慈悲、愛、などです。また神は、律法と福音を通してご自身を知らせてくださり、創造と摂理を通してご自身を示されました。

私たちは敬虔と恐れる心から神の御名を呼ばなければなりません。その方の

御名を崇めなければならない（詩 86:9）、その方の御名を呼ぶ時には、聖なる恐れがなければなりません（創 18:27）。それゆえ、時には、神に手を上げて祈る時もあります（Ｉテモテ 2:8）。神の御前、礼拝として進み出る時には、謙遜で、情熱的な心を持つべきです。何よりも神の御名を最高に高め、神のなさった御業について栄光を帰すべきことです（ヨブ 36:24）。

第三戒が、禁ずること

第三戒では、神の御名を冒涜すること、乱用することを禁じています。それは、神の御名について相応しい尊敬心を持たずに、不敬な言い方で話す場合です。偽善者たちは、神の御名を呼びながら、自分は信仰があるかのように見せます。神の御名を呼びながら礼拝している様だけど、それは何事でもありません。神の御名によって自分の偽りを隠そうとする場合も、神の御名を冒涜しながら用いることです。神の御名を軽々しく、そして気ままに使用すること、神の御名を用いることに注意を払わないことも罪です。あるいは、慌てる心で誓いをするのも、やはり第三戒を破ることです（マタイ 5:34-36）。神のみことばが冒涜される場合も、ここに該当されます。神のみことばを曲解して、歪曲させるのも、やはり第三戒を破ることになります（Ⅱペテロ 3:16、イザヤ 22:13）。

付け加えられた論理

第三戒を破る者たちは、人々からの裁きは避けられます。人間の法によっては、神の御名を冒涜したことに対する裁きはないにしても、権威ある者たちの中にも神を無視する者たちがいるからです。しかし、神の裁きからは免れません。神は決して侮られるような方ではないからです（ガラテヤ 6:7）。神は、彼らに災いを下らせ（申 28:58-59）、彼らを取り除き（ゼカリヤ 5:3）、地に飢饉を送ります（ホセア 4:1-5）。従って神の御名は、必ず、尊ぶ心で呼ぶべきです。